

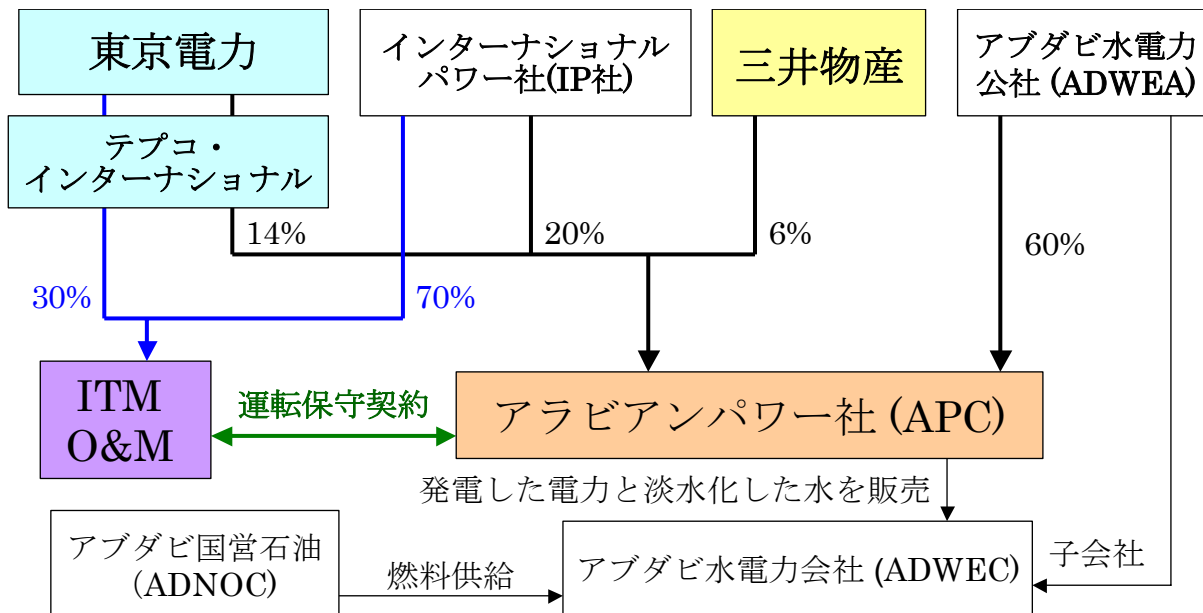
アラブ首長国連邦「ウム・アル・ナール発電・海水淡水化プロジェクト」の概要

1. 概要

- (1)所在地 首都アブダビ市の東方約 15km
- (2)総事業費 約 2,500 億円
- (3)発電出力/海水淡水化能力
 - 既存設備 85 万 kW/日量 75 万トン (既存設備の一部は、新規設備運転開始に伴い廃止され、65 万 kW/日量 54 万トンとなる)
 - 新規設備 155 万 kW/日量 11 万トン
- (4)発電方式 ACC (Advanced Combined Cycle: 改良型コンバインドサイクル) 発電方式 ……新規設備
- (5)燃料 天然ガス (パイプラインにて輸送)
- (6)ガス供給 ADWEC がアブダビ国営石油 (ADNOC) から調達し供給
- (7)販売先 アブダビ水電力会社 (ADWEC)
- (8)事業期間 新規設備営業運転開始から 20 年間の B00 (build-own-operate) * 方式
- (9)コンソーシアム 東京電力/三井物産/インターナショナルパワー社 (英国)

* B00 (build-own-operate) ……民間事業者が、自ら資金を調達して施設を建設し (build)、一定期間管理・運営 (operate) を行うが、所有権は公共に移転しない。

プロジェクトスキーム図



2. プロジェクト会社、運転保守会社

(1) プロジェクト会社

名 称：Arabian Power Company (アラビアンパワー社)

所 在 地：アラブ首長国連邦アブダビ市

出資比率：ADWEA 60%、インターナショナルパワー社 20%、テプコ・インターナショナル 14%、
三井物産 6%

(2) 運転保守会社

名 称：ITM O&M Company Limited

出資比率：インターナショナルパワー社 70%、テプコ・インターナショナル 30%

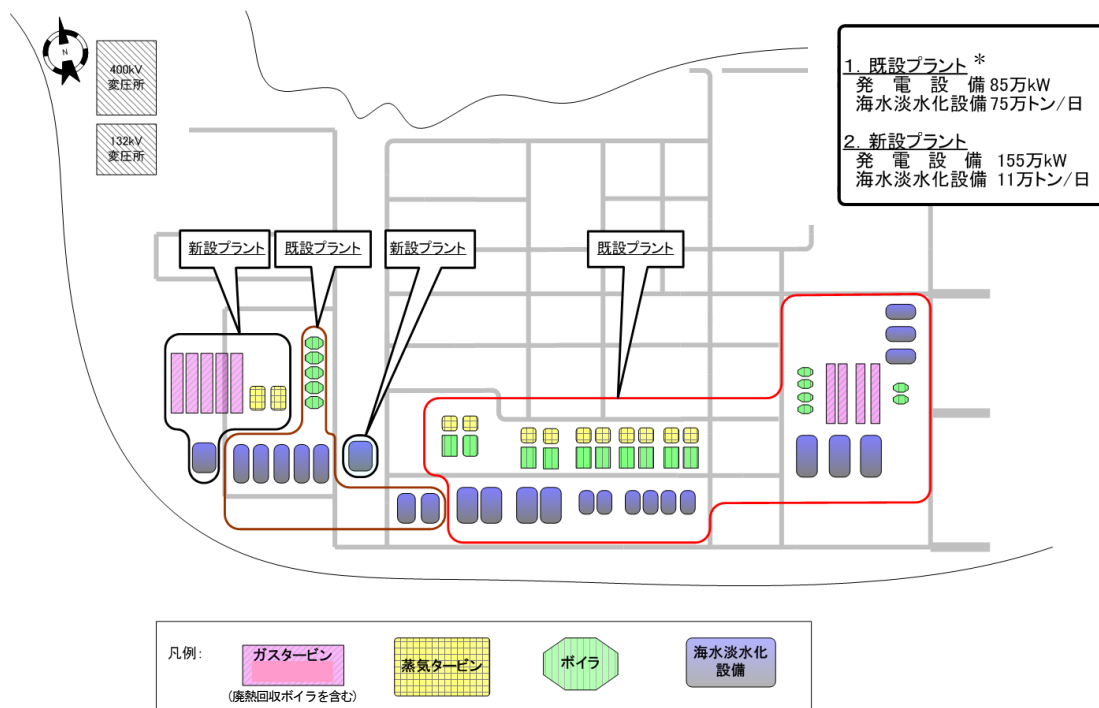
3. アブダビ水電力公社の概要

アブダビ政府の水・電力部門の民営化政策に基づいて、1998年に公社として設立。海外の民間企業による発電・海水淡水化事業を導入・実施している。ウム・アル・ナールプロジェクトは4件目となる。

4. プロジェクトの位置



5. ウム・アム・ナール発電・海水淡水化プラント配置図



*既存設備の一部は、新規設備運転開始に伴い廃止され、65万kW/日量54万トンとなる。

6. プロジェクト外観



以上